

基本
理念-21世紀を担うモノづくり集団-
京都からモノづくりイノベーション

新春号 2022 No.409

2022年 新年ご挨拶 2~6

会 長	中 本	晃
副会長	武 田	一 平
副会長	立 石	文 雄
副会長	村 尾	修 修
副会長	垣 内	永 次
副会長	齋 藤	成 雄
副会長	齋 錦	織 隆
副会長	片 岡	宏 二
副会長	瀬 川	晋 弘


会員企業トップにインタビュー〈27〉二九精密機械工業株式会社 7
「あいうえお」のFUTA-Q 4M+S=29

第27回目は、二九精密機械工業株式会社（南区）に二九良三代表取締役社長を訪問。男女問わず多様な人材が働きやすく伸び伸びと仕事ができる環境を整備することにより、世界でも同社しかできないβチタン合金の極細パイプ製造を始め次々と新しい開発を実現し成長を続けておられる同社の経営についてお話を伺いました。

◀ 二九良三 代表取締役社長

京都工業クラブ 9

- 「ゲノム編集で未来を拓く～広がる用途、産業利用の可能性～」
- 「スマート農業における自動化・ロボット化技術の社会実装」
- 「ウィズ・アフターコロナの世界経済」

事業活動報告

デジタルトランスフォーメーション (DX) 講座 (全4回) ...	8
白鷺クラブ.....	9
白鷺クラブメンバー企業 オンライン訪問	
ESG特別セミナー.....	10
モノづくりモチベーションアップ講座.....	10
業務革新研究会.....	12
生産保全 (TPM) 研究会	
VE (開発・設計革新) 研究会	

予告 モノづくりフォーラム2022 11

京都府産業功労者表彰ご受賞.....	13
京都中小企業技術顕彰優秀技術賞ご受賞.....	13
新入会員ご紹介.....	13
ゴルフ同好会 (KIG) だより.....	13

会員企業における

デジタルトランスフォーメーション(DX)への取組
～働き方改革と新たな価値の創出～ 3 14

企業においてDX（デジタルトランスフォーメーション）が注目を集める中、会員皆様の経営の参考にして頂くため、京都工業会会員企業における積極的なDXへの取組を紹介いたします。第3回目は株式会社エスユーエスの取組のご紹介です。

■ 会員企業トップにインタビュー 〈27〉

「あいうえお」のFUTA・Q
4M+S=29

二九精密機械工業株式会社 プロフィール
 創業：大正6年（1917年）3月1日
 資本金：6,750万円
 社員：230名
 住所：京都市南区唐橋経田町33-3
 業種：精密・微細金属加工

二九精密機械工業株式会社

代表取締役社長 二九 良三氏

「あ・明るく、い・意思を強く持ち、う・運が良いと思ひ込み、え・縁を大切に、お・大きな夢を持ち、Man（人）・Material（素材）・Machine（機械）・Method（工程）の4Mに+Skill（技）が組み合わさってFUTA・Qの技術が確立する」と信念を持ち、元気で、明るく、社員の能力を自由に引き出している二九社長にお話を伺いました。

— 御社の概要について教えてください。

今年で創業105年目となります。100年近くはステンレスの請負切削が中心で、お客様から図面をいただき多品種少量生産と試作部品を作るなどニッチな仕事をしてきました。現在は、微細なパイプの製造も手掛け、半導体、分析・計測、医用分野等の装置のコアパーツや医療機器、産業機器の製造を行っています。

— βチタンパイプの製造を手掛けたきっかけを教えてください。

元々、ステンレス切削が中心だったのでパイプ生産は外注してお客先へ納めていました。パイプメーカーも通常1ロット何百トンという単位で製造するので、当社からの依頼は外注先工場の空時間に作ってもらっている片手間の仕事でした。このため当社の顧客要望に応えられる品質も揃わず、正直なところ先方にとっては面倒な仕事で、頼み込んで作ってもらっている状況でした。そんな時、採血管のノズルを納品していた客先から、「ステンレスは曲がりやすい。曲がっても形状が元に戻る金属でノズルを作れないか」という相談がありました。「できない」と断るのは嫌な性格なので何とかしたいと思っていた時に、よくしなるメガネの「つる」部分の素材を一般産業に応用できないかと考えつきました。そして、以前より取引のあった福井県の企業と共同研究を行うことになりました。タイミング良く京都府の戦略的共同支援事業にも採択され、パイプ製造設備の導入も実現し、チタンでの極細パイプ作りに取り組むことができました。試行錯誤を重ね思うような製品ができるまでには開発から約10年かかりましたが、切削の請負企業からニッチなパイプメーカーになることが出来ました。

— 会社は今後どのような方向に進むのでしょうか

これからは、手のひらより小さなもの、指先に乗るような微細なモノを試作から製造する方向に進んでいきます。軽くて高強度、しかも高い弾力性に優れたβチタン合金は、ステンレスより5倍以上に長持ちして、この極細パイプを作れるのは、世界でも現在は当社のみです。お客様は血球計測分野ではグローバルマーケットシェア50%以上を押さえる大手企業等が中心で、PCR検査装置、手術用ロボット等に当社の製品が使用されています。また、この極細パイプの内面の状態を確認したいとの要望にお応えするため、このパイプの中身を調べる検査装置の開発も行い、今後はこの装置の販売も計画しています。

— 新しい開発が次々と実現できるのはなぜですか

男女問わず様々な経験を積んできた多様な人財が集まり、働きやすく伸び伸びと仕事ができる環境を整備してきたことが大きいと思います。当社では、「家族が一番、仕事は二番」です。まずは、家族の事を最優先して働いてもらっています。女性の活躍にも力を入れ、大企業でも珍しいと思いますが、子供が小学校を卒業する迄、時短勤務を行える制度を5年前から導入しています。男性でも子供が1歳になるまで育児休暇を取った社員もいます。休暇を取りやすくするために、同じ仕事ができる社員が複数名いるようにしています。家庭の理由等で人財を失う事は、もったいない!と考えていますので、そうならないように社内整備を行っています。また、社員の最高齢者は75才で、本人の意欲と健康であれば働き続けてもらいます。中途採用も積極的に行い、今年度だけでも既に新卒を含め41名を新規に採用しました。産業雇用安定センターから紹介いただいた大企業からの出向者などには、これまでの経験を生かして、人財のマネジメントや開発の責任者になっていただき、伸び伸びと働いてもらっています。以前の社内環境は、人を責める風土がありましたが、今では社員の良い所を伸ばすことに力を注ぎ、働きやすい環境作りに取り組んでいます。中途採用の人でも働きやすい環境を整え、新しい仲間たちと互いの能力をフルに活かしてもらう事で、どうしたら「この問題を解決できるのか」「実現したいと思っていることが形となるのか」を追いかけています。

— 今後の抱負を教えてください。

今は次のステージに上がるための準備期間と捉えています。当社の売り上げは今年40億円ですが、5年以内に100億円達成を目指しています。まずは、計画して実現するためには、何が必要なかを考えます。新しい人財も加え、今行っているモノづくりを深掘りして、一緒に取り組む企業のパートナーとして、今は世界中のどこにもない安心安全を確認するための新しい検査装置を開発し世に送り出すことで、目標を達成したいと思い、また、それができると信じています。

